

1 内政

(1) サンドラ・トーレス国民希望党 (UNE) 委員長の再選

2日、サンドラ・トーレス国民希望党 (UNE) 委員長は、同党内の投票により、委員長として再選された。UNEは最大野党であり、国会で31議席を有している。同委員長はコロン元大統領 (2008-2012年) の元妻であり、2015年には大統領選に出馬し、モラレス大統領に決選投票で敗れた。

(2) 最高選挙裁判所の与党および最大野党に対する選挙支出報告書提出命令

6日、最高選挙裁判所は、与党国民集中戦線 (FCN) および国民希望党 (UNE) に対して、2015年に行われた選挙の支出報告書を提出するよう命じた。両党は30日以内に適切な報告書を提出しなければ、解散することとなる。

(3) 大統領府顧問の解任

13日、政府はツイッターで、モラレス大統領がクラウス・メリダ大統領府移民問題担当「大使」を解任した旨発表した。メリダ氏は、4日、マイク・リー米上院議員 (ユタ州選出、共和党) に米国で会い、ロビンソン駐グアテマラ米大使による「グアテマラ内政に対する干渉」に関して調査するよう求める書簡を渡したことが問題視されていた。メリダ氏は、2015年の大統領選挙後の同年11月に当時のモラレス次期大統領の推薦を受け、マルドナド大統領によって大統領府移民担当コーディネーターに大使級として任命されていた。

(4) 憲法裁判所長官の交代

14日、ネフタリ・アルダナ前憲法裁判所長官に代わって、フランシスコ・デ・マタ憲法裁判所裁判官が新たに長官に就任した。同裁判所には裁判官が5人所属しており、裁判官の任期は5年である。長官の任期は1年であり、5人が持ち回りで長官に就任する。

(5) モラレス大統領の病院搬送

26日、モラレス大統領は、地方のイベントに参加中、めまいによって倒れ、ヘリコプターでグアテマラシティの病院に緊急搬送された。イベント当日の気温が高かったため (30度)、気分が悪くなったと見られている。モラレス大統領は翌日から業務に復帰したものの、体調不良であることを背景に、「私は勤勉な大統領であるが、休暇を取ろうと考えている」と発言し、一部から批判を受けた。

(6) 経済大臣の交代

28日、モラレス・モンロイ経済大臣は辞任を表明し、ビクトル・アストゥリアス氏が新たな経済大臣に任命された。辞任の理由に関して詳細は明らかになっていないが、モラ

レス・モンロイ前経済大臣は大統領府から WhatsApp(当館注:中南米で普及している LINE と同様のメッセージアプリ)を通じて辞任の要請を受けたことを明かしている。モラレス政権発足以来辞任した閣僚は4人目(オルドニェス前通信インフラ住宅大臣, カスタニョン前エネルギー鉱山大臣, カブレラ前保健大臣に続く)となった。アストゥリアス新大臣は, 就任に際し, これまでのモラレス政権の経済政策を踏襲することに加えて, 国勢調査実施に取り組む旨述べた。

2 外交

(1) モラレス大統領の米国レイクワース領事館開所式出席

6日, 米国を訪問したモラレス大統領は, フロリダ州(パームビーチ郡)レイクワース領事館の開所式に出席した(当館注:外務省ホームページによると, 米国で16番目の領事館でフロリダ州ではマイアミ総領事館に次いで2番目の開設)。開所式に参加した米国に住むグアテマラ人移民は, この機会を利用して大統領に話しかけようとしたが, モラレス大統領はその機会を与えず, 大統領と移民の間に隔りがあることが明らかになった。

(2) EUによるグアテマラ無処罰問題対策国際委員会(CICIG)に対する供与

6日, EUはグアテマラ無処罰問題対策国際委員会(CICIG)に対して5百万ユーロの供与を行った。供与されたお金はCICIGが行っている汚職と無処罰問題の撲滅に活用される。

(3) モラレス外相のトルコ訪問

19日~23日, トルコを訪問したモラレス外相は, 19日にユルドゥルム・トルコ首相, チャヴシュオール・トルコ外相とそれぞれ会談を行い, 21日に在トルコ・グアテマラ大使館の開所式に出席した。ユルドゥルム・トルコ首相との会談で, モラレス外相は, 奨学金の供与, ジカウイルス撲滅支援, 学校用のパソコン120台の寄付などのトルコ国際協力機構(TIKA)の活動に感謝を述べた。また, チャヴシュオール・トルコ外相との会談では, (TIKAを通じた)協力, 教育, 治安, 経済-貿易関係等に関して話し合われた。

(4) グアテマラ人の国連ポスト任命

27日, エドモンド・ムレット氏が, グアテマラ国連事務総長によって, 国連・化学兵器禁止機関共同調査機構のシリアにおける化学兵器使用調査委員会委員長に任命された。右委員会は国連安全保障理事会によって2015年に設置されたものである。同氏は, 米国及びEU代表部で大使を務めた。国連では, 平和維持活動(PKO)の副事務総長やハイチ安定化ミッションの代表を務めた後, 2015年に潘前事務総長によって官房長に任命された。また, 1982年から1993年まで国会議員を務めていた。

3 経済

(1) 当地経団連会頭の交代

3日、ホセ・ゴンサレス・カンポCACIF（当地経団連）会頭に代わって、アントニオ・マロウフ・グアテマラ非伝統産品輸出業協会（AGEXPORT）代表が新たなCACIF会頭に就任した。同新会頭は、当国の主要輸出品である繊維業界の出身である。会頭の任期は1年。

(2) 韓国輸出入銀行による当国の民間主要銀行に対する融資

3日、韓国輸出入銀行（Korea Export-Import Bank）がグアテマラと韓国の会社の輸出入を支援する目的で、当国の民間主要銀行である産業銀行（Banco Industrial）に対して3,000万米ドルの融資を行った。イ・ウンホ駐グアテマラ韓国大使は、ここ2年停滞している両国の貿易関係の再活性化に、今回の融資は必要であると述べた。

(3) 世界経済フォーラムの観光競争力レポート発表

5日、世界経済フォーラムは、2017年の観光競争力レポートを発表した。グアテマラは、136か国中86位であり、前回調査が行われた2015年より順位を6つ下げた（2015年は141か国中80位）。当国は価格競争力（16位）、天然資源（45位）等の分野で高評価を得たものの、治安（121位）、航空インフラ（118位）、環境の持続性（104位）等の影響で順位を落とした。

(4) セマナサンタ（キリスト教聖週間）中の外貨収入増加

17日、ホルヘ・チャホン観光庁（INGUAT）長官は、セマナサンタ中に11万5,295人の外国人観光客が当国を訪れ、同期間中の外貨収入が8億9,110万ドルであったことを発表した。この額は2016年のセマナサンタと比べて、6,300万ドル多かった。エルサルバドル、米国、メキシコ、ホンジュラスの他、ヨーロッパや南米からも多くの観光客が当国を訪れた。

(5) 当国の2017年の経済成長率予測

18日、国際通貨基金（IMF）は当国の2017年の経済成長率が3.3%になるとの見通しを発表した。一方、世界銀行は3.6%、国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（CEPAL）は3.4%と見通しを発表している。当国の中銀は、3.1%～3.8%成長すると予測している。

(6) グアテマラ人のメキシコ南部への移民

2017年1月と2月の国境労働移民カード（tarjeta de visitante trabajador fronterizo, メキシコとの国境地域で働く移民に対する一時的な労働ビザ）の登録は、アルタ・ベラパス県出身の移民に対して996件、ウエウエテナンゴ県出身の移民に対して613件、サン・マルコス県出身の移民に対しては554件行われた。これら3県には貧困家庭が多く、コーヒー、サトウキビ等の農作物の収穫時期になると、多くの移民が労働機会を求めてメキシコ南部へ向かう。メキシコ当局によると、在メキシコ・グアテマラ人の短期労働者の半分は20代である。

(7) 当国のコーヒー輸出

当国の2015年～2016年シーズンのコーヒーの収穫量は3億9,500万ポンドだった。当国コーヒーの最大消費国は米国で、2016年の対米コーヒー輸出量は1億2,704万ポンド(全体の32%)に上る。日本は当国産コーヒー第二の輸出相手国であり、昨年の輸出量は8,036万ポンド(同20%)。2015年～2016年シーズンにおける米国への当国産コーヒーの輸出量は2011年～2012年のシーズン(2億2,070万ポンド)と比べ減少傾向にある一方、日本への輸出量は増加傾向(2011年～2012年のシーズンの輸出量は6,082万ポンド)にある。ポール・ブリショー当国コーヒー輸出業者協会(ADEC)エグゼクティブ・ディレクターは、「日本市場は非常に重要であるが、(日本の顧客は)非常に質の高いコーヒー及び契約の遵守を求める」と日本市場に関して説明した。

◇主要経済指標◇	2017年			2016年	2015年
	4月	3月	2月		
インフレ率(前年同月比)	4.09%	4.00%	3.96%	4.23%	3.07%
貿易収支(百万ドル)	未発表	△505.8	△402.9	△6,532.0	△6,913.1
輸出(百万ドル)	未発表	1,094.5	947.4	10,465.3	10,726.2
輸入(百万ドル)	未発表	1,600.3	1350.3	16,997.3	17,639.3
外貨準備高(百万ドル)	9,792.7	9,424.5	9,267.5	9,160.4	7,751.2
外国からの送金(百万ドル)	639.9	739.8	613.9	7,160.0	6,285.0
為替レート(対ドル月平均)	7.34	7.36	7.41	7.62	7.65

(出所：中銀，国立統計院)

注) 2015年および2016年の為替レートは年平均

4 治安・社会

(1) 青少年凶悪犯罪集団幹部の逮捕

10日、国家文民警察は、グアテマラ県サンホセ・ピヌラ市内の高級住宅街において24軒の家宅捜索を実施し、同高級住宅街に潜伏していた、エルサルバドルの青少年凶悪犯罪集団であるマラ・サルバトゥルーチャ幹部1名(ペドロ・リバス氏)を逮捕した。同人は、同日エルサルバドル当局に引き渡された。リバス氏は、メキシコにて違法銃火器を入手し、入手した銃器を当国に保管、順次エルサルバドルに運搬する目的でグアテマラに潜伏していた。警察当局はメキシコでの違法銃火器の取引に際し、同国の犯罪組織シナロア・カルテルとの繋がりがあると見ている。

(2) セマナサンタ(キリスト教聖週間)中の殺害件数の減少

17日、内務省は、2017年のセマナサンタ中に当国で発生した殺害事件が74件であり、89件だった2016年に比べて、15件減少したことを発表した。